



アメリカ人がみたニッポンを伝えたい あきらめず行動して生きる人びとの姿を！



おもいやり予算とは？

1978年、時の防衛庁長官・金丸信が、在日米軍基地で働く日本人従業員の給与の一部(62億円)を日本側が負担すると決めたことから始まる。日米地位協定の枠を超える法的根拠のない負担に対して、円高ドル安などによってアメリカの負担増を考慮した金丸が、「思いやりの立場で対処すべき」などと答弁したことから、思いやり予算と呼ばれるようになった。

Sympathy for the Troops

リラン バクレー 監督プロフィール

Leland Buckley(1964年生まれアメリカ・テキサス州出身)’80年、高校1年で初めて来日し埼玉でホームステイ。歴史を専攻し高校社会科の教員資格を取得。アメリカで大学院終了後、日本の大学院で文部省の大学院研究員として日本文学を専攻。’95年に天野文子氏の広島原爆日記を英訳し、原爆投下50年に、天野氏と数人でアメリカ各地を訪問し、テレビ、ラジオ番組等で原爆禁止をアピール。他にも、地産地消、食糧やエネルギー自足に興味を持って活動。英会話スクール経営。青山学院大学英語講師。20年以上神奈川県在住。日本語ペラペラ 英語もペラペラ

映画「ザ・思いやりパート2」無料上映会 主催：柏・議員9条の会（柏市議会議員有志）

内田ひろき、北村かずゆき、くさかみやこ、すえなが康文、林さえこ、ひらの光一、松本ひろみち、宮田きよこ、武藤みづえ、本池なみえ、やざわ英雄、山下洋輔、わたべ和子